

## ○ドサクサ紛れは許さない

金融機能強化法がインド洋への自衛隊派遣継続と並んで国会の争点になっています。麻生総理が解散の時期を経済危機を理由にして先延ばしにしました。マスコミは民主党の国会戦略の転換を書きたてています。国会論議を徹底抗戦に戻して議論の引き延ばしを始めたと言っています。これは、間違いです。自民党の世論操作にマスコミが乗ってしまって、真意が伝わっていません。私の担当する金融機能強化法案は、現状の経済状況を見れば、ぜひ早く通したいと思うし、そのように努力しています。28日に、本会議で代表質問をして問題点を指摘した後、与党との間で法案修正の交渉を始めました。

株価が急激に下がって、その分、中小企業に充分貸し出しができなくなっている地方銀行に、政府が直接資本を投入して枠を広げることは賛成です。しかし、ドサクサにまぎれて、その中に、農林中金や新銀行東京など、ギャンブル的な資金運用で大損したり、無茶苦茶な貸し出しで不良債権を山と作ってしまったような金融機関の救済を潜り込ませているのは納得できない。しかも、その経営責任を追及せず、農水省の歴代事務次官が農林中金の理事長に天下って、年間4000万以上の報酬を得ている事実などが明るみになりました。農林中金は、60兆円の運用資産のうち40兆円が株式や債券などで、今回この大暴落で元金の半分以上の損をしていると言われていました。さらに、このうち農協を通じて農業関連の貸付に使われている資金がわずか1.6兆円しかないという現状がはっきりしてきました。いつの間にか農業者のための組織とは程遠いものになっています。こうした構造に、税金を投入するとなると、「ちょっと待てよ、ここは黙ってただ金を出すと言う訳にはいかない。」ということです。

## ○経済対策は、バラマキ

今度の経済危機は、二つの要因があります。アメリカ発のサブプライムローンの破綻が、株の大暴落を起こしました。このことで、日本の銀行も資本が縮み、その結果、貸付枠も収縮して、貸しはがしや貸し渋りが起きている。この現状に、対処すること。

次に、世界の金融が大混乱の中、日本の現状がまだましだと言うことと、これまで金利の安かった日本で資金調達をして海外に投資をしていたファンド会社が、一斉に返済に回って、日本に資金を戻すために円を買っているという現象が重なって、円の急騰が起こっています。さらに、欧米では景気の落ち込みがはっきりしてきた結果、自動車や電気関連の製品を中心に輸出の見通しが大きく減少し、下請け企業などは受注見通しと価格設定の厳しさに危機感を抱いています。

こうした経済の構造問題に対して、家族4人標準世帯で6.4万円の給付金と高速道路の一部割引、子育て手当を第二子から年間で3.6万円などの経済対策が政府から打ち出されました。これらは一年ポッキリのバラマキで、しかも、3年後の消費税増税つきです。

この際、輸出頼みの日本経済を転換させて、日本の中で、豊かさを実現する内需型経済に導いていくことを目標に経済対策をやるべきです。安定した雇用と給与レベルの確保。子ども手当は月々2万6千円を中学卒業するまで支給。7万円の最低補償年金の実現と所得に比例した給付額で、国民年金も厚生年金も一元化し老後生活の安心確保。高速道路は、名神、東名などの幹線道路無料化。同時に農業の直接所得補償などをやれば、経済の構造が内需型に変わってきます。麻生さんの一年ポッキリでは構造に切り込めないのです。さらに消費税を言うなら、その前に、税金の無駄遣いを徹底してなくすという大改革を具体的に実行することです。それがなければ、国民は絶対に納得しません。

## ○麻生さん、解散はいつ？

「中川さん、いつもに似合わん怖い顔しとったな。」「ネクタイの色がよかったよ。」「髪の毛がうすなったな。」などと、多くの励まし？のメールをいただいています。先日の本会議での代表質問がテレビニュースで放映された後の、地元からのメールや電話です。解散を迫ったシーンです。

地元と東京の往復は、さらに激しさを増しています。新幹線では爆睡。「頼むから、早く解散してくれや。」これが本音です。